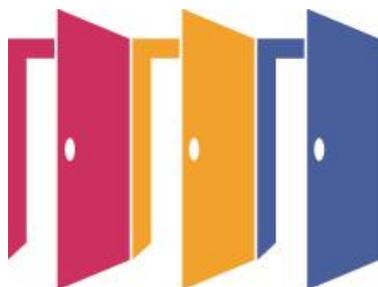


沼津柿田川ロータリークラブ



ロータリーは機会の扉を開く

RI会長 ホルガー・クナーク
 RI第2620地区ガバナー 志田 洪顯
 会長 梅田 欣一
 幹事 川口 尚史
 例会日時 毎週水曜日 点鐘12:30
 例会場 沼津卸商社センター 2F
 〒411-0912 静岡県駿東郡清水町卸団地203
 TEL 055-971-6500
 事務局 〒410-0312 沼津市原1771-2 増田方
 TEL 055-969-2321 FAX 055-969-2322
 E-MAIL officework@rcj-nk.org

会長挨拶



第1789回例会 会長挨拶

会長 梅田欣一

皆さん、こんにちは。

西クラブの皆さま、新しい例会場が決まったとのことで、おめでとうございます。

私もこのアクアガーデン迎賓館に来るのは初めてですが、大変きれいなところで、羨ましく思います。沼津クラブや北クラブの人たちも、是非一度メイキャップに行ってみたいと言っていたのを聞いております。

さて、我が沼津柿田川クラブは、日本三大清流の一つである「柿田川」が名前に入っておりますので、私は、会長挨拶のネタに困ると、ロータリーの友から、水保全の記事を取り上げて紹介させて戴いております。

そこで、ちょうど3月は「水と衛生月間」となっておりますので、本日は、ロータリーの友3月号の記事を紹介したいと思います。

まず、左側から開いて5ページをご覧ください。柿田川が紹介されております。また、10ページと11ページに、我がクラブの毎年9月に開催される第2580地区との米山奨学生合同奉仕作業について、紹介されております。

この事業には、芹澤さんがガバナー補佐の時に、芹澤さんと宮島さんも参加していただいております、その他の西クラブの方々にも参加していただいたこともあるかと存じます。

西クラブの皆さんも、また機会がありましたら、この事業に参加していただければと存じます。

宜しくお願い致します。

幹事報告

■ 事務連絡 ■

*ガバナー事務所より

2022-23年度 青少年交換長期派遣候補学生募集中止のお知らせ 到着
 第2620地区 2021年1月度 会員報告 到着

■ 例会変更 ■

*沼津ロータリークラブ

3月12日(金)→コロナ休会<MUなし>

3月19日(金)→祝日週休会

*沼津西ロータリークラブ

3月18日(木)→祝日週休会<MUなし>

3月25日(木)→移動例会<MUなし>

*沼津北ロータリークラブ

3月16日(火)→特別休会

*富士山吉原ロータリークラブ

3月18日(木)→夜間例会

■ 週報到着 ■ ありません。

本日のゲスト・ビジター

ゲスト・ビジターはありませんでした。

スマイル報告

梅田欣一 本日は宜しくお願ひ致します。

齋藤悦生 早退します。すみません。

濱田清明 今日ではよろしく。

岩邊亜紀 本日は宜敷くお願ひ致します。

沼津西RC合同例会

今年は沼津西RCがホストとなり、2クラブ合同例会が行われました。沼津西RCの新しい例会会場であるアクアガーデン迎賓館にて、コロナ対策で昼例会となりました。



沼津西ロータリークラブ
会長 植松 正 様
本日の例会は、沼津柿田川RCとの2クラブ合同例会となります。梅田会長、川口幹事はじめ会員の皆様、よろしくお願いします。

1999年より20年以上続く合同例会ではありますが、今年ほど開催が危ぶまれた年はなかったのではないのでしょうか。今年度はコロナ禍のもと大半の地区行事が中止となり、IMや沼津4クラブ合同例会も中止となりました。そのような状況下ではありますが、しっかりとした感染防止策も取れると判断し、開催を決意しました。そして新しい例会場「アクアガーデン迎賓館」にお招きし、会場や料理の充実度を感じて頂きつつ、交流の輪を広げていきたいとの思いがありました。

話題は変わりますが、本日3月11日は、東日本大震災が発生してから丸10年が経ちました。私にとって東北は、福島市で大学4年間、仙台市で社会人をスタートして3年半の計7年半を過ごした思い出深い土地であります。また、当時小学生だった二人の息子が宮城県岩沼市にて被災したこともあり、決して他人事ではありませんでした。津波被害を受けた仙台空港近くに住んでいたことから、安否確認が取れるまでは最悪の事態を覚悟したことを鮮明に覚えています。また、東北自動車道が2週間後に復旧し、食料やガソリンなど救援物資を持って駆けつけましたが、あまりにも変わり果てた街並みに自然災害の恐ろしさを痛感させられました。

あれから10年。記憶は時とともに薄れていきます。多くの命を奪った大震災さえも、遠い過去になりつつあります。東北の中心地である仙台市は訪れるたびに復興を感じるものの、福島県は未だ原発事故処理問題で苦しんでいます。福島原発に関しては、学生時代に現地を訪れた際、非常に違和感を覚えました。何かというと、旧ソ連のチェルノブイリ原発事故を受け安全性を懸念された時期でもあり、あまりにも日本の原発は絶対に安全だと強調する東京電力のスタンスでした。本当に安全であれば、東北電力管轄である福島県に設置する必要はないし、なぜ市町に対して莫大な補助金を提供し過度ともいえる公共施設を建設するのだろうと思ってしまいました。

この10年で、東北復興は果たせたのでしょうか。いま、災害への備えは万全でしょうか。この先、よりよい社会のために必要なことは何か。あらためて、考えてみたいと思います。



アトラクションはロータークイズ

閉会の挨拶は菊地パト会長



本年度の両クラブ会長幹事



例会の様子



◆次回例会プログラム◆ 創立記念夜間例会

出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席数	出席率	今回迄の本年度通算出席率
7名	7名	6名	85.71%	81.81%

出席： 菊地・梅田・濱田・川口・齋藤・岩邊 計6名

欠席： 安本 計1名

MU: 計0名